

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	EYESTAR 900 と IOLMaster700 の生体計測値の比較と眼内レンズ度数計算式の予測性についての単施設後方視的研究 (B22-095)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部眼科学 准教授 飯田 嘉彦
他の研究機関および各施設の研究責任者	他の研究機関はありません。
本研究の概要・背景・目的	<p>現在眼軸長や角膜形状を計測する機器(生体計測装置)は数多くあります。本研究で使用する EYESTAR 900 と IOLMaster700 も生体計測装置であり、眼軸長や角膜形状などの測定が可能です。両者は同じ測定原理を使用していますが、計測方法に異なる部分もあり、同じ眼を測定していても測定結果や精度が異なる場合があります。生体計測は白内障手術で眼内レンズの度数決定に重要な役割を果たすため正確なデータを測定することが重要であり、機器間の測定値の違いや精度の違いを検討する必要があります。</p> <p>また EYESTAR 900 は角膜前面の曲率半径だけでなく、角膜後面の曲率半径を測定することが可能で、本装置に搭載されている計算式の一つである Barrett 式では、従来の角膜前面曲率半径を基に角膜屈折力を推定して計算する方法(model-based)と、計測した角膜後面曲率半径も計算式に組み込まれた方法(measured)の 2 種類が搭載されています。角膜後面曲率半径を実測できることにより、さらなる度数計算の予測性の向上が期待されていますが、その予測精度を検証した報告はありません。</p> <p>今回の検討では、EYESTAR 900 と IOLMaster700 の測定値の比較や測定可能率を比較し測定精度の違いを明らかにすることと、2 種類の計算方法により眼内レンズ度数や予測屈折値を算出し、実際の患者様の屈折度数との比較を行い、この計算方法の有用性を検証し、より質の高い医療に貢献することを目的としています。</p>
調査データ 該当期間	2022 年 5 月 20 日から 2022 年 9 月 20 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	2022 年 5 月 20 日から 2022 年 8 月 12 日までに北里大学病院眼科を受診し白内障術前検査を施行した患者様
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2022 年 5 月 20 日から 2022 年 9 月 20 日までの電子カルテに記載のある診療記録、眼科検査値(視力・自覚・他覚屈折度数)、EYESTAR 900、IOLMaster700 による生体計測値(眼軸長、角膜屈折力、角膜乱視度数、角膜厚、水晶体厚、前房深度、角膜径)を利用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究は当院眼科の研究費を用いて行います。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学医学部眼科学・准教授 担当者：(フリガナ) 飯田 嘉彦(イイダ ヨシヒコ) 電 話：042-778-8111</p>
<p>備 考</p>	